旅と文化

発行所
東京都千代田区
神田神保町2～30
財団法人全国
修学旅行研究協会
電(301)0531・2426
編集・発行人
永井熙

さくらフイルム
小西六写真工業

# 団体輸送の円滑化

## 国鉄各支社に団体センター設置

修学旅行が貧困家庭生徒の旅費国庫補助や三十七年度より教育課程に位置づけやその他の理由により活発になつてきたため、全国二千万人に及ぶ生徒輸送の円滑化が大きな問題となつてきた。〃ひので〃〃ぎぼう〃〃こまどり〃等の専用電車の設定は、大量輸送の解決策のあらわれであるが、最近では地区連合による計画的団体輸送の傾向が、東北、関東、近畿北陸、中国、九州等の各県に起り、団体集約臨時列車の需要が多くなつた。これに対処するため、国鉄では十月一日より全国各支社内に団体輸送センター（略称団体センター）を設けて、事務能率の向上と輸送サービスの改善をはかることになつた。この為に、修学旅行の計画実施がスピード化されると共に、困難だつた数支社に関係した長距離の修学旅行が非常に便利になるわけである。

団体輸送センターの組織としては各支社の附属機関として支社の所在地毎に設置され、局によつて異るが課長級が専任者となり、所長と所員によつて構成される。担当地域は所属支社の所管区域と同一で、その主な業務は次の通りである。

(1) 団体及び貸切旅客の輸送申込の受付及び引受けに関する業務
(2) 団体及び貸切旅客の輸送計画及び輸送手配に関する事務
(3) 団体旅客の誘致、宣伝に関する事務
(4) 団体旅客の市場調査及び団体輸送に関する調査研究
(5) 団体集約臨時列車の設定及び大口団体臨時列車の運転の要請
(6) 団体増結及び貸切増結手配の要請
(7) 団体及び貸切旅客の輸送に関する供出及び運用の要請
(8) その他団体旅客輸送事務に附属する業務

この団体センターの設置によつて従来、駅で受付け、管理局、支社を経て更に関係諸方面へ連絡していたのが一本化されることになり特に他支社に亘る手配が関係団体センター間の相互打合せによつて決定をみることになつたので、非常に事務能率が向上するわけである。したがつて今まで遠距離の団体輸送の事務で時間のかかつていたのが早くなると共にそのあい路がどこにあるかも発見され、増車その他の点が容易になつてくる。

また団体センターには夜間及び日曜、祝日にも指令当直員が置かれ

# 修旅の輸送難解決は

## 秋季実施と地区連合計画輸送

春秋における修学旅行生徒数の現状は、春季が全体の約八〇%秋季が約二〇%の割合になつている。春季に修学旅行が集中することと

他の一般団体の旅行との重なりによつて起る輸送上の困難を打開することが、我が国における修学旅行の重要な課題の一つであるがこれについて国鉄本社営業局旅客課の横須賀虎之助氏（下段の写真）は次の様に語つている。

「修旅の輸送難解決として考えられることは、春季に集中しているものを秋季に廻すことが当面の問題である。現在秋季の学生団体の集約臨の数は春季に比らべて非常に少いし、且つその期間が短い。一般的に秋季は九月下旬から十一月上旬頃迄であるが、集約臨の申込人員は定員の八三%位に当り、ゆつくりした旅行が行われているのが現状である。しかし個々の学校が春から秋に変えて希望の時期に申込まれても、学校行事の関係で時期が重なり集約臨の編成が困難となつて輸送ができない結果になる。そこでどうしても地区毎に学校の代表者が集り、話し合いを行つて計画的に修学旅行の実施を研究することが必要になる。大都市や人口密集県では、この話し合

毎に団体輸送のスピード化をはかつたことについては、各方面より非常な好評を受けている。

今回このように国鉄当局が各支社

模写電送装置や直通、鉄道、公衆等の電話が設備されるので、事務処理が非常にスピードアップされることになる。

# 修学旅行の方面別研究

東京都立城南高等学校教諭　谷　信勝

今秋、文部省の手により「修学旅行実態調査」が実施されるのでその最新のデーターによつて研究したいところであるが、それは後日にまつとして、現在えられる全国的な修学旅行地別統計として、昭和三十二年に日修協が、同年中に行う修旅計画を調査したものがあるので、これによることにした。

調査校は、中学二二、一七九校、高校三、一〇八校であるから、全国の約九五%が対象となつているので、略全体の傾向を察知することができる。中学校は二泊三日又は三泊四日がそれぞれ約三五%、高校は四泊五日が三二%五泊六日が二二%を示しているから、修旅の方面は（日数の多少によつて行動範囲が限定されるから）当然両者の間に明かな差異がある。

さて修旅地の方面別であるが、残念なことに、経由する見学地に適確なデーターがとられていない。そこで宿泊地別に分けてみる。

中学（単位一、〇〇〇人）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第一位 | 東京 | 五七九（一七%） | |
| 二位 | 京都 | 五六二（一六%） | |
| 三位 | 奈良 | 二八三（八%） | |
| 四位 | 箱根 | 二二九（六%） | |
| 五位 | 日光 | 一八五（五%） | |
| 六位 | 江ノ島 | 一七〇（五%） | |
| 七位 | 別府 | 一九五（四%） | |

高校（単位一、〇〇〇人）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第一位 | 京都 | 五四六（三七%） | |
| 二位 | 東京 | 三三一（一七%） | |
| 三位 | 奈良 | 一七八（九%） | |
| 四位 | 伊勢 | 一二二（六%） | |
| 五位 | 大阪 | 七二（四%） | |
| 六位 | 日光 | 六五（三%） | |
| 七位 | 箱根 | 六一（三%） | |

全宿泊地は中学が三六五ケ所（共通一八一ケ所）高校が二六七ケ所で地方別にみると中学は関東に三六%、近畿に三〇%高校は近畿に約五〇%、関東に二五%が宿泊しているから、全体的にみれば近畿が三七%で首位を占め、古都を訪れる学校の多いことがわかる。

次に地方別入宿状況を調べてみると中学校は一般に居住地方内に限り、即ち他地方に越境しないのが特色で、特に島である北海道と九州にこの傾向が強く、八割以上の生徒はその島内を修学旅行している。しかしこの反動が高校修旅にみられ、北海道、九州とも、関東地方に入宿する高校生徒数の第一二位を占め、共に約一六%となつている。また高校は、中学旅行地が同一地方内型、隣接地方相互間型に対し、飛地型で、近畿の四三%が関東から、九州の六五%が近畿から、中国四国の七〇%が中部から、一地方とびこえて旅行している。これは、全修協が昭和三十三年実施した「修旅調査統計」を参照されると、さらに明かになる。

このように行動し、宿泊する修学旅行であるから、実施する学校側も、受け入れ側の輸送、宿泊、見学の各機関も一層の努力を願いたいものである。

# 明るい色の〃こまどり〃

## 社会科に役立つ諸設備

毎年一回実施、年によつて行先がちがう。昨年は鹿児島—関西方面—関東日光まで、見学先決定の二案を学校側から提示して生徒の希望により行先を決定する。小遣いは二〇弗位ときめてある。

沖縄工業高校
1、七月三十日　2、二十三日間　3、六十五弗　4、約五〇名　5、一括払い　6、鹿児島経由—関西地方—関東地方　日光まで　7、今年は二、三年生参加

糸満高校
1、八月三日　2、十七日間　3、六〇弗　4、二十八名　5、一括払い　6、鹿児島経由—関西—関東日光まで　7、小遣いとして二〇弗を全費用と同時に計八〇弗提出の由。

沖縄高校
1、七月十七日　2、二十日間　3、七〇弗　4、一七六名　5、一括払い　6、鹿児島経由—関西—東京まで　7、毎年

普天間高校
1、八月一日　2、二十日間　3、七〇弗　4、約七〇名　5、一括払い　6、鹿児島経由—関西—東京—日光まで　7、一昨年より積立制度によつてなるべく多くの人が参加できるようになつてきた。夏、春期旅行にわかれていて、自分の行きたい方に申込む。

中央高校
1、八月五日　2、二十日間　3、六十二弗　4、約五〇名　5、一括払い　6、鹿児島経由—関西—東京日光まで　7、二年生を中心に旅行計画。

（以下次号）

# 沖縄における高等学校の修学旅行の現況について（上）

東京都立桜町高等学校教諭　小沼　常治

ドルの国沖縄に約一カ月の旅をして沖縄本島、宮古島、石垣島と見学し巡検して教えられるところが多かつた。今日は沖縄高校の修学旅行について、現況をお知らせしたいと思う。

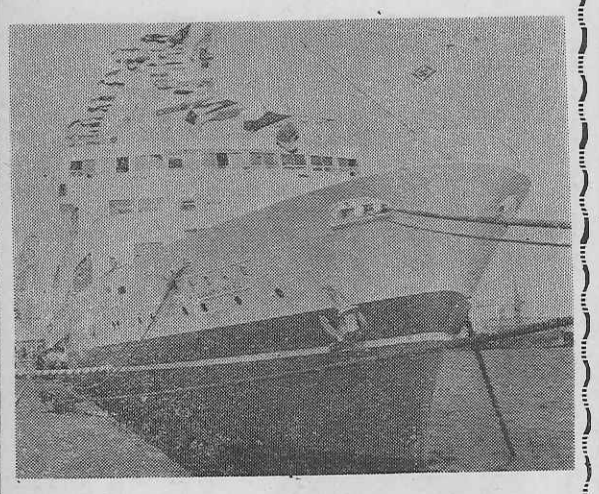
（備考）
1、実施期日　2、期間　3、実施費用　4、参加人員　5、費用調達方法　6、旅行先　7、備考

知念高校
1、七月二十五日　2、十日間　3、三十四弗　4、五十名　5、一括払　6、関西方面　7、毎年実施、年によつて行く先は変る、昨年は関東地方まで（六十五弗）小遣は別途

首里高校
1、七月二十七日　2、二十日間　3、七十二弗　4、一三〇名　4、一括払い、5、鹿児島経由仙台まで　6、毎年実施しているが旅行先は一定せず、今年は東京まで（関東地方）

那覇高校
1、二月下旬　2、二十日間　3、八〇弗　4、一五〇名　5、一括払い、6、東京—仙台—鹿児島—帰島の順。東京直行の船で東京から見学を初める　7、毎年実施、行先は年により多少変更する。

那覇商業高校
1、七月二十七日　2、二十三日間　3、七十四弗　4、一四〇名　5、一括払い　6、東京—北海道—鹿児島—帰島　7、毎年一回実施、年によつて



# 〃むらさき丸〃就航

## 快適な瀬戸内の修学旅行

瀬戸内海航路の大阪—別府間を走る豪華船むらさき丸（三千トン）が、八月浦賀ドック造船所で進水し、九月よりいよいよ就航することになり、去る九月三日東京晴美埠頭岸壁において京浜地区より七千名以上を招待して船内外を披露した。明るい白と緑の流線型スマートな〃むらさき丸〃は、全長八六・七米、巾一三・四米、一九・五ノットの早さで千名以上を乗せて走る海のホテルである。修学旅行の生徒は二等客室で第二甲板にあり、五九二名を収容できる。上部遊歩甲板には娯楽室があつて（百名収容）映写、マイク、その他設備は至れり尽せりの有様。尚〃むらさき〃丸の瀬戸内就航によつて今後ますます修学旅行が増加すると共に、瀬戸内の快適な修学旅行は、むらさき丸によつて解決されるであろう。

# 高校の集約臨

## 福岡縣五市連合で

九州地区の高等学校はほとんどが関西や関東方面へ修学旅行を行つているが、長距離と人員数のため集約臨設定はなかなか困難な状態であつた。今回、北九州の福岡県五市における高校が話し合つた結果、五市が連合して集約臨を設定し、十月の学校行事をさけるため九月十四日から二十七日まで二週間にわたつて計画的に修学旅行を実施した。このために従来まで混乗や増結による座席確保の難点が除かれ、楽しい旅行ができることになつた。

# 理事会開かる

## 下半期の活動計画決定

全修協本年度下半期の事業活動に関する役員会が去る九月二十一日本部会議室において、山本理事長及井事務局長、村山常務理事、岡本常務理事、伊藤理事、河野理事本部各職員等が参集して終日熱心な会議を開いた結果、更に活潑な活動を展開することとなつた。

▽本部会議室における役員会△

⑤ 網棚
新湖南型と同じく窓側に設ける

⑥ 便所
扉を改良して開閉を便利にする
但し男便所は廃止。

⑥ 屑箱と清掃用具
各車輌毎に大きな屑箱二箇と清掃道具を備える。

⑧ 水槽タンク
〃ひので〃と同じものを設けるが、水のこぼれを防ぐ為にフタにゴムのワクをつける。

⑨ 休憩席
各車輌毎に一ケ所、横になつて休めるボックスを設ける。

# 江ノ鎌路

## 修旅地を歩く（2）

# 陸繋島（トンボロ）と歴史の都

## 休養地帯に続く武士の夢のあと

### 大磯から江の島へ

東海道を大磯から海岸通りの観光道路に沿つて相模川を渡ると、広々とした相模デルタの真中を、大型バスが気持よく突走る。一面の畑には廿諸や麦などが栽培され、遠く南方には帯のように緑の防風林が続いている。道路が茅ケ崎海岸の砂丘に入ると、関東大地震で隆起した鳥帽子岩が海上に浮かび、砂丘の間にはゴルフ場や湘南の住宅や公団住宅の鉄筋コンクリートが防風林の間に赤やクリーム色の色彩を添えているやがて東方海面に航空母艦のような江ノ島がくつきり浮んで見え始める。バスが八〇キロのスピードで片瀬近くまでくると、ハイヤーや修学旅行バスに交じて青年男女相乗りのオートバイが往来する。江ノ島に面した片瀬海岸は遠浅で海水がきれいなため鎌倉の由比ケ浜に代つて近ごろは海水浴客がいじちるしく増えている。

増加した理由は、むしろ水族館やマリンランド休憩所等の設備や小田急や舗装道路の完成等の設備や交通の便利がよくなつたことの方が大きいのかも知れない。

### 江ノ島の門前町

江ノ島は第三紀層の凝灰岩や砂岩からなる約六〇米の台地状の小島だが、数本の南北に走る断層線に沿つて海蝕が行われ、洞窟の中には弁財天が祭つてあるので有名だ。社会科として江ノ島を教える場合には洞窟の弁財天よりも、むしろ片瀬川の流出した砂と漂流によつて運搬された砂のため江ノ島が陸繋島（トンボロ）になつていることの方が重要であろう。ただしこれは干潮のみで、満潮時は砂嘴が海水に覆われて島になつてしまう。島の前面石段上にある江ノ島神社前の両側は、土産物や旅館の立並ぶ門前町になつている。最近島を結ぶ木橋がコンクリート橋に改装され、一回十円の渡橋料を払わないと渡れなくなつた。

### 住宅地化した鎌倉

江ノ島をあとに再びバスに乗つて、七里ケ浜の海岸沿いの立派な舗装道路を、江ノ電に沿つて走ること十数分、稲村ケ崎の切り通しを抜けると、鎌倉由比ケ浜が弓状に拡がつており、遠く鎌倉を囲む三紀層の凝灰岩台地が連つて見える通勤者の住宅地に変つた鎌倉市は人口の増加とともに由比ケ浜の海水をよごしたものの、夏季の浜辺は、やはりいもの子を洗うようなにぎわいである。

### 鎌倉見学の要点

鎌倉へ西から入つた場合には、まず長谷の観音と露坐の大仏を見学するのが順序であろう。とはいえ、修学旅行の生徒に奈良や京都と同じように、寺や神社のみを漫然と見学させるのみでこと足れりとするならば、教師としての資格が云々されると思う。

源頼朝が建久四年（一一九三）に武家政治をこの鎌倉の地にはじめてから、北条氏の滅亡する元弘三年（一三三三）までのおよそ一四〇年間ここが政治の中心地になり、当時の文化が現在の寺や神社等に残つている点に留意すべきであつて、特に頼朝が京都文化を模倣して鎌倉を京都にたぐらえたこと、三代実朝が京都文化を自分のものとしてそしやくしていたこと、貴族宗教に対抗して新しく宋より禅宗を輸入したこと。武家の勢力争いから庶民の生活が乱れたため、その中から新しく日蓮宗が生まれたこと、海外貿易が行われていたこと、等々がこの鎌倉の寺社を通じてみられるからである。

### 鶴ケ岡八幡宮

源頼義が京都の石清水八幡宮の神霊を鎌倉の鶴岡（元八幡）に移し鶴岡若宮とした。頼朝の時に現在地に移転したが、当時は若宮に本殿があつた。建久二年（一一九一）後の丘に本殿を移した。再度の兵火で焼失したが、今のは徳川家光の再建になる権現造で、昔も今も鎌倉の中心になつている。

### 大仏

高さ一一・四米、重量九・四トンの金銅仏で、奈良の大仏に次ぐ大きさを持つ。円満端麗な阿弥陀像で、鎌倉時代の鋳仏のよい作例である。一二五二年に鋳造を始めたが完成の年や作者は不明である。

### 立市　鎌倉国宝館

昭和四年開館された鉄筋コンクリート建で八幡宮境内にあり、鎌倉地方の国宝、重要文化財が多数陳列されている。寺社巡りの出来ない修学旅行にはここの参観が便利である。なお館内にはガイドがいないので、説明希望の学校は前もつて日時を通知依頼すれば、館員が詳しく解説してくれる。

### 和歌江島

材木座海岸の南方にある人工島で干潮時には海岸から陸続きの石堤の洲に浮び上る。この二〇〇米の半島は鎌倉時代の海港の防波堤で、平清盛の兵庫福原の築港工事に比すべき大工事でその遺蹟が現今まで残つているのは偉観である。この和歌江島以西の海岸には国内外より多数の舟が出入した。

右は江ノ島の航空写真で南北に走る断層線に沿つて浸蝕された数本の凸部が海に出ているのがよくわかる。

### 江ノ島

江の島は周囲約四キロ、面積一平方キロに満たない小さな島で、高さ六〇米の台地上になつているが眺望がすぐれ昔から観光地として栄え、中央には読売平和塔（三七・五米）がそびえている。島内には断層線に沿つて海蝕された洞穴があり（大きいものは奥行一〇〇米）江の島神社の霊場として弁財天がまつられている。昔は鎌倉武士の信仰が厚く、江戸時代には庶民階級の信仰で栄え今日に至つている。

### 江ノ島マリンランド

江ノ島の片瀬海岸には水族館とマリンランドがあつて修学旅行生や一般客で賑わつている。海水の池の面積は約一二〇〇平方米、鯨やイルカが群遊していて壮観を呈する。

中央の大通は鎌倉の中心若宮大路、その奥が鶴岡八幡宮、左の白い白亜は近代美術館

# 食中毒は予防できる

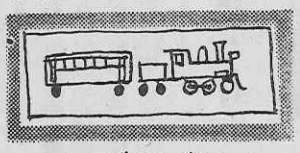
## 秋の修学旅行に都で通達

修旅の事故対策について東京都教育庁保健課水野俊夫課長は次のように語つている。

「大きな学校行事として行われている修学旅行が、無事に終ることを教師も父兄も常に念願している一番心配なことは出先での病気や事故と思われるが、都保健課としては今回通達を各学校に出して注意を喚起している。しかし、事故は予想外の時に発生し易いものであるので、過去の諸例をよく分析して、それが不可抗力のものかどうかを検討し、若しそれが生徒や引率者側に原因があれば事前にある程度の防止が出来るわけである紫雲丸事件は不可抗力であるが、集団赤痢は防止できる。都としては教職員を通じて生徒側に注意し指導を行つている。毎年全都の養護教諭を集めて、事前の注意について講習を行い徹底化をはかつている。今まで征露丸などを用意していつた学校もあるがこれは整腸薬だから防止には役に立たない。保健産業のホルム錠は二年前から薬剤支部会が検定し都の保健課で推薦しているので、予防や防止に役立つ。ホルム錠は修学旅行の外に夏季施設にも服用させている学校も多い。飲ませ方は前もつて一斉に服用させ、帰る時に又飲ませる必要がある。長期の修学旅行の場合は数回服用させた方がよい。特に残暑の九月は食中毒が多く、赤痢は大体毎月患者が発生しているので油断がならない。」

（写真は保健課長水野俊夫氏）

出版界空前のスケール
これからの地理教育の決定版
図説 日本文化地理大系
全18巻　全巻総アート函入豪華本
各1500円　隔月刊行
第1回配本（近畿II）
10月10日ごろ発売
東京 神田 小学館

修学旅行

。。のご用命は。。
強力なサービス！ シャープな技術！
営業所・全国に120ケ所
近畿日本ツーリスト
本社・東京都千代田区丸の内　国際観光会館内 231－4131